

「木更津市こども計画」の策定に係る 各種意見聴取結果の報告について

令和7年7月23日 第1回子ども・子育て会議にてご審議をいただきました、「木更津市こども計画」策定に係る各種意見聴取について、結果をとりまとめましたので報告いたします。

1. 調査の概要について

(1) 調査の目的

「木更津市こども計画」の策定にあたっては、子ども基本法において「こども施策を策定・実施・評価する際に、こども・若者や子育て当事者等の意見を反映するために必要な措置を講じること」が、国や地方自治体に義務付けられています。木更津市として、子ども・若者を取り巻く実態やニーズを把握し、聴取したご意見を計画に反映するためにアンケート調査を実施しました。

(2) アンケート調査内容

	小学5年生・ 中学2年生調査	小学5年生・ 中学2年生の保 護者調査	ひとり親家庭 調査	こども・若者 調査
調査 対象	市内在住の小学5 年生と中学2年生 の児童生徒	市内在住の小学5 年生と中学2年生 の保護者	市内在住のお子さ んがいるひとり親 世帯の保護者	市内在住の15 歳～39歳の方
配布数	2,354件	2,354件	871件	3,000件
調査 方法	【配布】学校配布 【回収】WEB		【配布】郵送配布 【回収】WEB	
調査 期間	令和7年5月29 日～令和7年6月 25日	令和7年5月29 日～令和7年7月 9日	令和7年5月13 日～令和7年6月 6日	令和7年7月18 日～令和7年8月 11日
回収数 (回収率)	1,856件 (78.8%)	663件 (28.2%)	115件 (13.2%)	664件 (22.1%)

(3) アンケート以外の調査内容

	学習支援教室に通う中学生等を対象とした対面調査	高校生・大学生を対象としたワークショップ	きさらづ みなトーク	パブリック・コメント
対象	市内の「学習支援教室」に通う中学生等	市内の高校生および大学生(短大生を含む)	①市立学校に通う小学生・中学生 ②全市民	全市民
参加者	36名	10名	-	-
実施方法	自由記述形式のアンケート調査(対面)	グループワーク	市が運営する市民参加型合意形成プラットフォームでの意見応募	市の公共施設およびホームページでの意見募集
調査期間	令和7年6月17日、20日、25日、26日	令和7年7月16日	①令和7年4月14日～令和7年4月30日 ②令和7年3月1日～令和7年4月30日	令和7年12月19日～令和8年1月17日
回答数	-	-	①5,515件 ②81件	0件

2. 調査結果の概要について(アンケート)

各アンケート調査における設問と回答の概要について、報告いたします。

(1) 小学5年生・中学2年生調査結果の報告(一部抜粋)

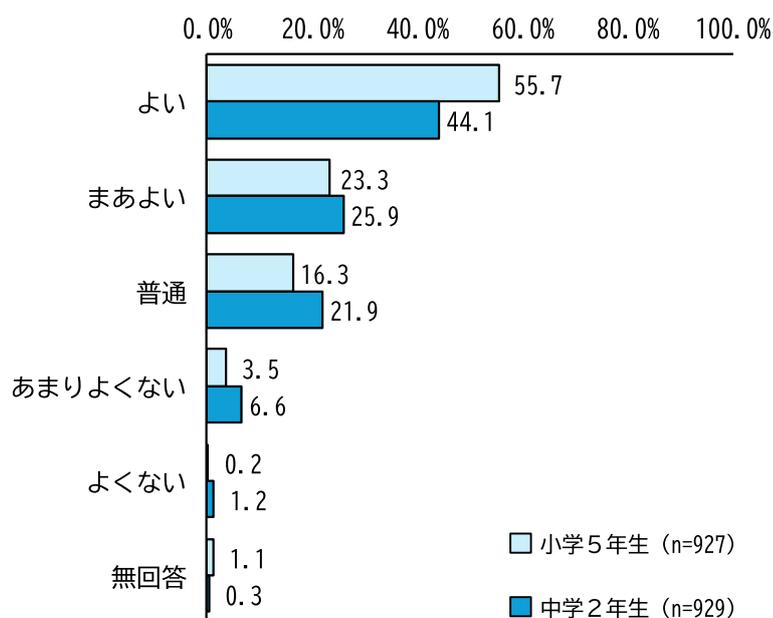
市内在住の児童・生徒に対して行ったアンケートでは、主に以下の項目について調査を行いました。

- ・子どもの生活状況についての設問を設定し、学習、食事、悩みごと、ヤングケアラーなどに課題がみられないか調査を行う。
- ・地域活動への参加頻度などを設定することで、地域とのつながりについて探り、子どもがどのような活動に興味を持つのかを調査する。
- ・「子どもの権利条約の4つの原則」について、どの程度認知されているかを調査する。
- ・子どもの持つ自由な発想や多種多様な要望は設問形式のみでは拾いきれないため、自由記述を設定して広く子どもの意見聴取を行う。

アンケートの回答のうち、上記に関連する設問を抜粋して報告いたします。

■健康状態について

あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。(あてはまるものを1つ選択)



「自分の健康状態」について、小学5年生では、「よい」が55.7%で最も多く、次いで「まあよい」が23.3%、「普通」が16.3%となっています。

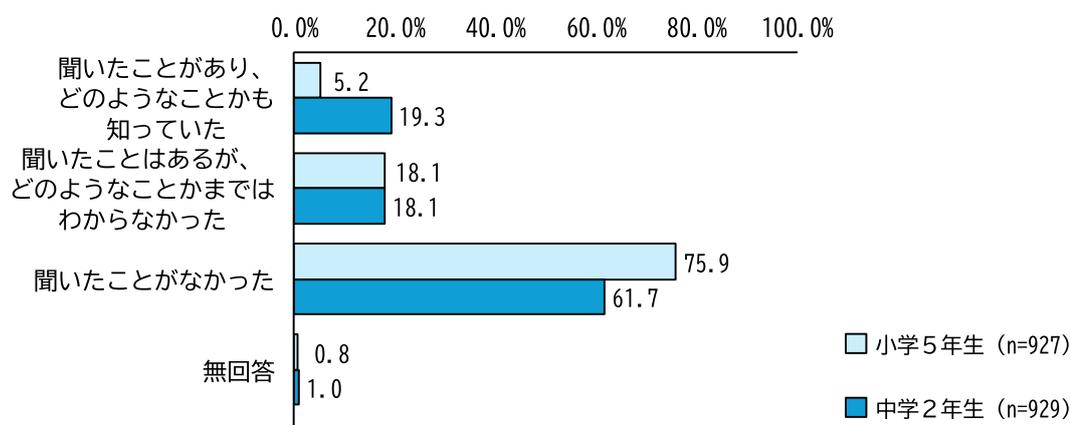
中学2年生では、「よい」が44.1%で最も多く、次いで「まあよい」が25.9%、「普通」が21.9%となっています。

■ヤングケアラーについて

あなたは「ヤングケアラー」について聞いたことがありますか。(あてはまるものを1つ選択)

「「ヤングケアラー」の認知度」について、小学5年生では、「聞いたことがなかった」が75.9%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、どのようなことかまではわからなかった」が18.1%となっています。

中学2年生では、「聞いたことがなかった」が61.7%で最も多く、次いで「聞いたことがあり、どのようなことかも知っていた」が19.3%となっています。



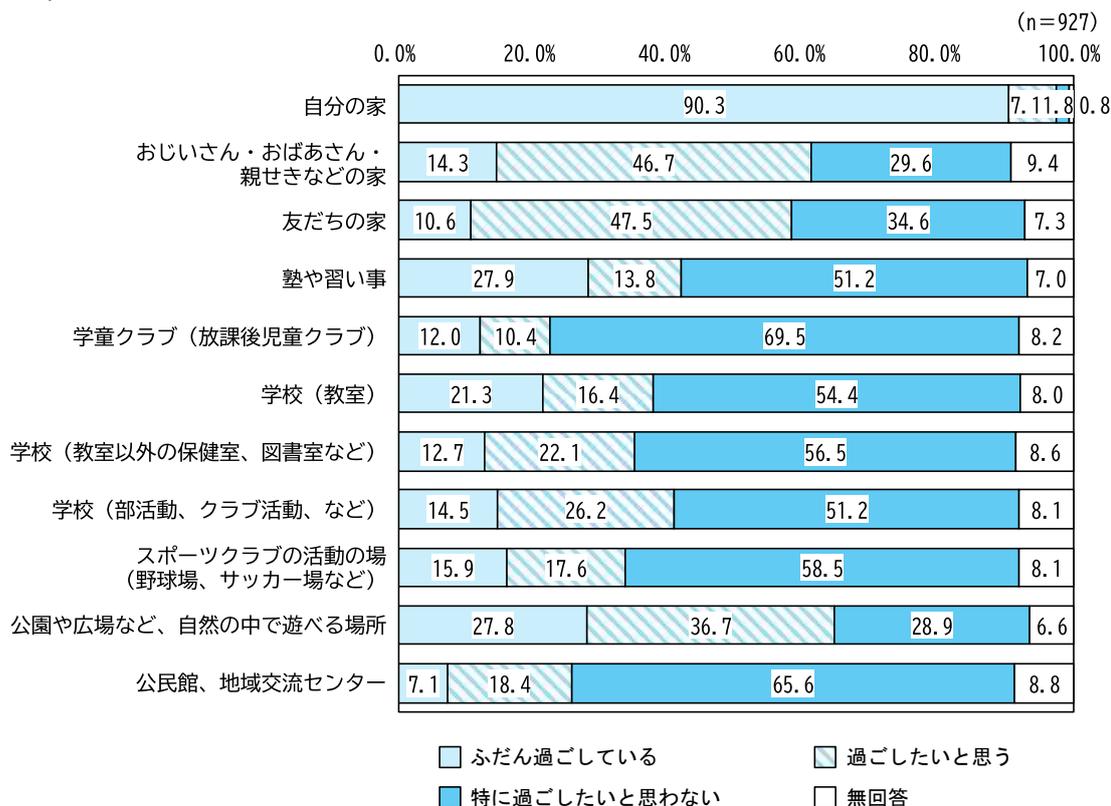
■地域で過ごす場所について

あなたが、学校のある日の放課後過ごしている場所や、過ごしたいと思う場所はどこですか。(それぞれ、あてはまるものを1つずつ選択)

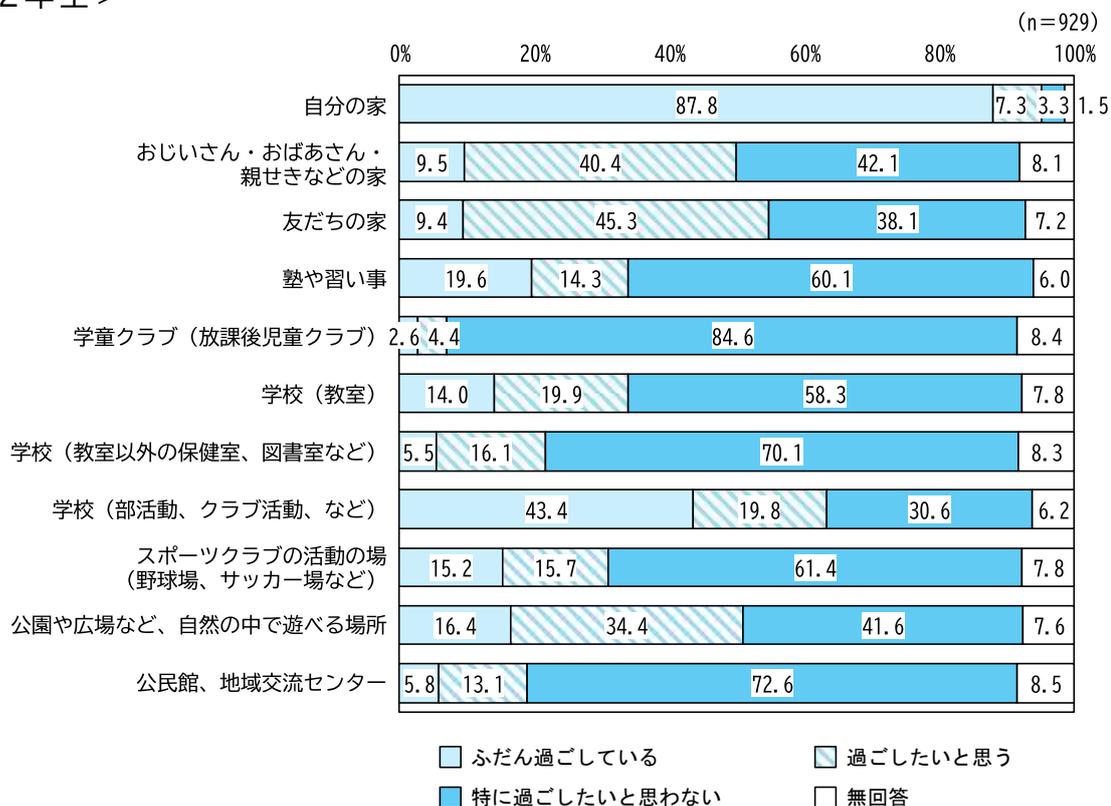
「普段過ごしている場所や、過ごしたいと思う場所」について、小学5年生の「ふだん過ごしている」では、「自分の家」が90.3%で最も多く、「過ごしたいと思う」では、「友だちの家」が47.5%で最も多くなっています。

中学2年生の「ふだん過ごしている」では、「自分の家」が87.8%で最も多くなっています。「過ごしたいと思う」では、「友だちの家」が45.3%で最も多くなっています。

< 小学5年生 >



< 中学2年生 >

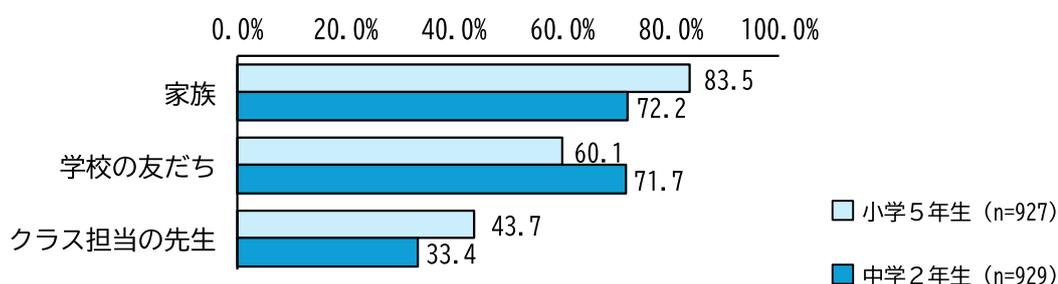


■相談できる人について

あなたに困っていることや悩み事があるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。（あてはまるものをすべて選択）※上位3つを掲載

「困りごとや悩みごとの相談先」について、小学5年生では、「家族」が83.5%で最も多く、次いで「学校の友だち」が60.1%、「クラス担当の先生」が43.7%となっています。

中学2年生では、「家族」が72.2%で最も多く、次いで「学校の友だち」が71.7%、「クラス担当の先生」が33.4%となっています。

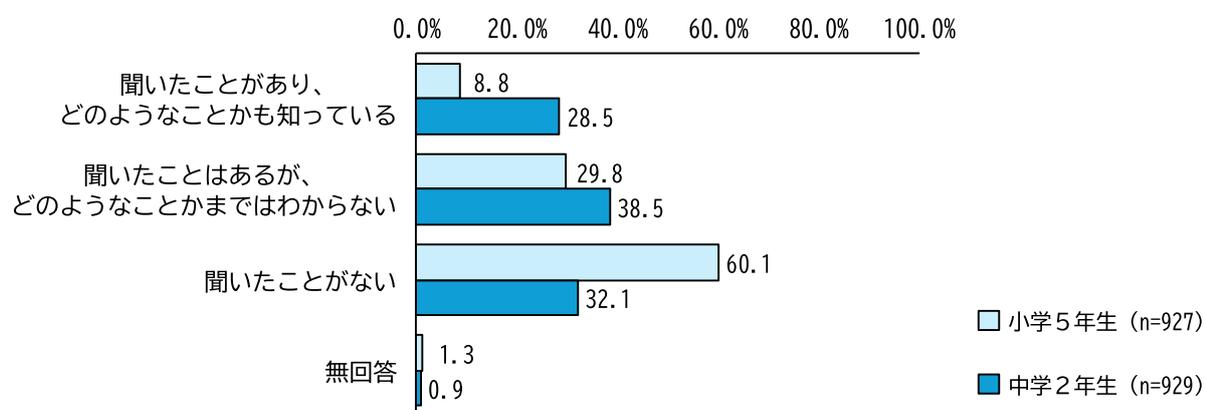


■「子どもの権利条約の4つの原則」について

あなたは「子どもの権利条約の4つの原則」について聞いたことがありますか。（あてはまるものを1つ選択）

「子どもの権利条約の4つの原則」の認知度について、小学5年生では、「聞いたことがない」が60.1%で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、どのようなことかまではわからない」が29.8%となっています。

中学2年生では、「聞いたことはあるが、どのようなことかまではわからない」が38.5%で最も多く、次いで「聞いたことがない」が32.1%となっています。



(2) 小学5年生・中学2年生の保護者調査結果の報告(一部抜粋)

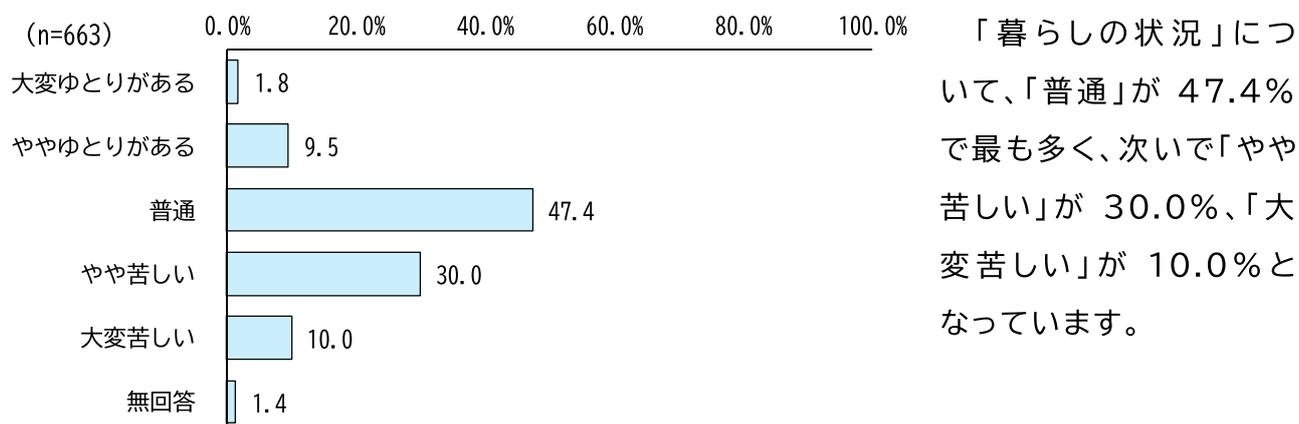
市内在住の児童・生徒の保護者に対して行ったアンケートでは、主に以下の項目について調査を行いました。

- ・保護者やお子さんの生活状況についての設問を設定し、学習、食事、悩みごと、ヤングケアラー、暮らし向きに課題がみられないか調査を行う。
- ・「子どもの権利条約の4つの原則」について、どの程度認知されているかを調査する。
- ・世帯の暮らし向きについての設問を設定することで、生活困窮世帯の調査・分析を行う。

アンケートの回答のうち、上記に関連する設問を抜粋して報告いたします。

■暮らし向きについて

現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(あてはまる番号を1つ選択)

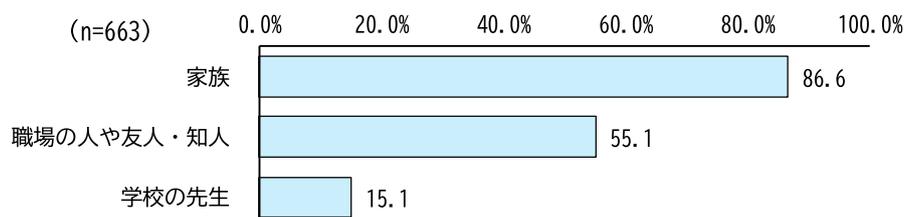


■相談できる人について

あなたは、子育てに関する不安や悩みをどなたに相談していますか。不安や悩みが特にない場合は、不安や悩みがあった場合を想定してお答えください。(あてはまる番号をすべて選択)

※上位3つを掲載

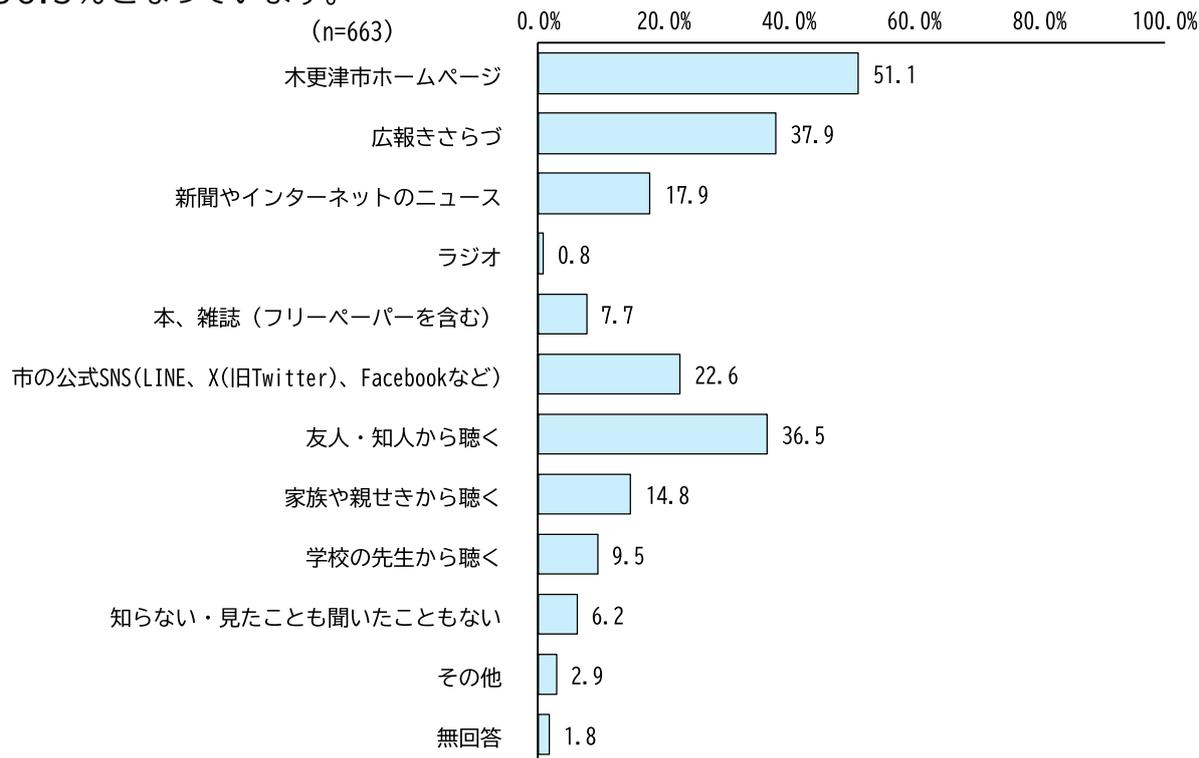
「子育てに関する不安や悩みの相談先」について、「家族」が86.6%で最も多く、次いで「職場の人や友人・知人」が55.1%、「学校の先生」が15.1%となっています。



■子育てに関する情報の入手について

あなたは、子育てなどに関する公的な支援制度の情報をどのようにして入手していますか。(あてはまる番号をすべて選択)

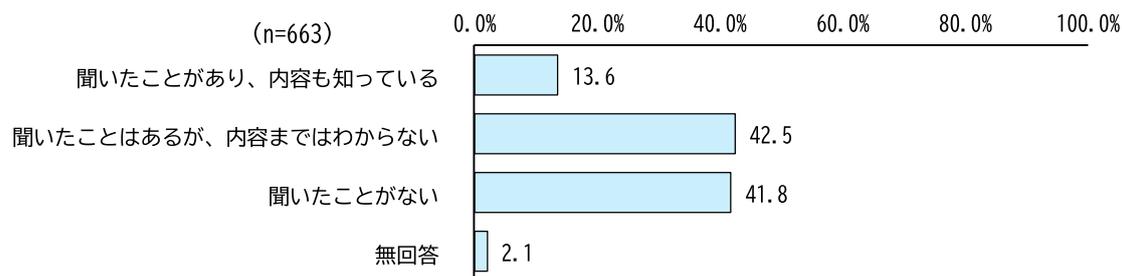
「子育てなどに関する公的な支援制度の情報の入手先」について、「木更津市ホームページ」が51.1%で最も多く、次いで「広報きさらづ」が37.9%、「友人・知人から聴く」が36.5%となっています。



■「子どもの権利条約の4つの原則」について

あなたは「子どもの権利条約の4つの原則」について聞いたことがありますか。(あてはまるものを1つ選択)

「「子どもの権利条約の4つの原則」の認知度」について、「聞いたことはあるが、内容まではわからない」が42.5%で最も多く、次いで「聞いたことがない」が41.8%、「聞いたことがあり、内容も知っている」が13.6%となっています。



(3)ひとり親家庭調査結果(一部抜粋)

市内在住のお子さんがあるひとり親世帯の保護者に対して行ったアンケートでは、主に以下の項目について調査を行いました。

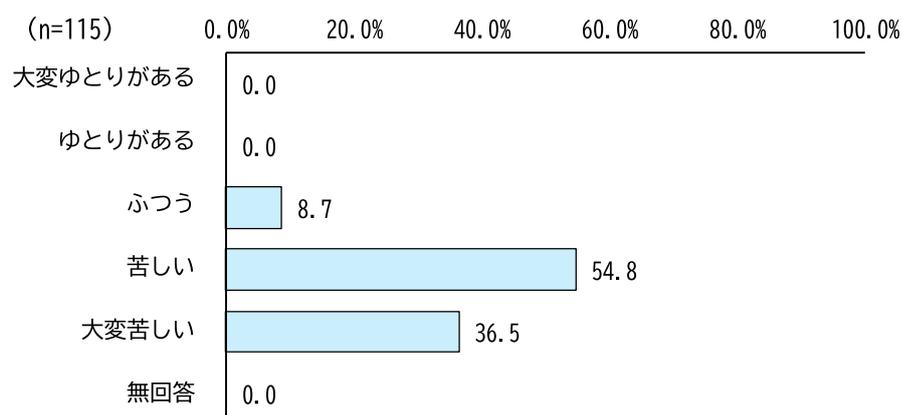
・多くの課題を抱えるひとり親家庭に対して、悩みや困りごとなど実態、ニーズの把握について調査する。

アンケートの回答のうち、上記に関連する設問を抜粋して報告いたします。

■暮らし向きについて

あなたは現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるものを1つ選択)

「暮らしの状況」について、「苦しい」が54.8%で最も多く、次いで「大変苦しい」が36.5%、「ふつう」が8.7%となっています。

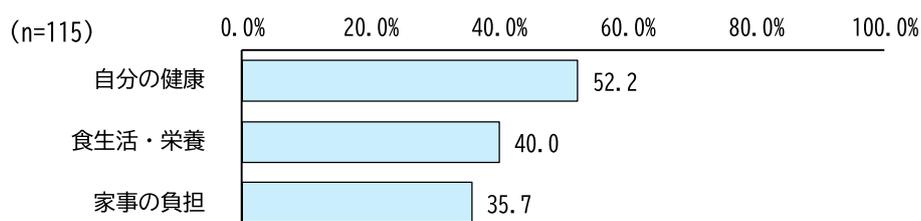


■悩みや不安について

現在、生活の中で何か悩みや不安はありますか。(あてはまるものをすべて選択)

※上位3つを掲載

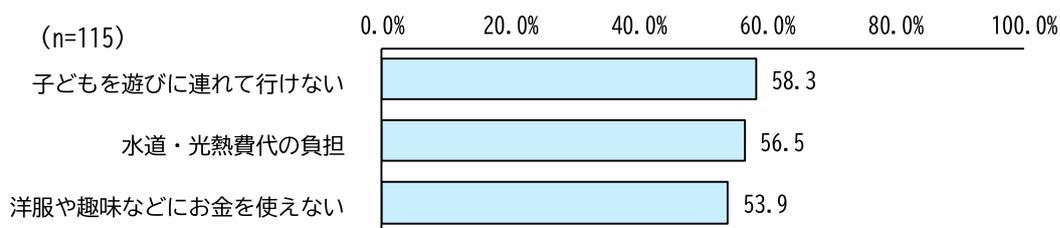
「生活の中での悩みや不安」について、「自分の健康」が52.2%で最も多く、次いで「食生活・栄養」が40.0%、「家事の負担」が35.7%となっています。



お金に関して何か悩みや不安はありますか。(あてはまるものをすべて選択)

※上位 3 つを掲載

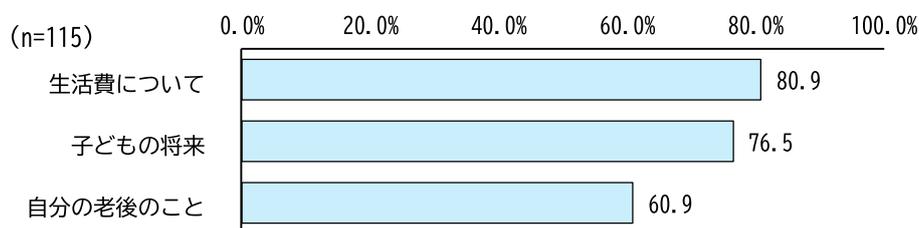
「お金に関する悩みや不安」について、「子どもを遊びに連れて行けない」が 58.3%で最も多く、次いで「水道・光熱費代の負担」が 56.5%、「洋服や趣味などにお金を使えない」が 53.9%となっています。



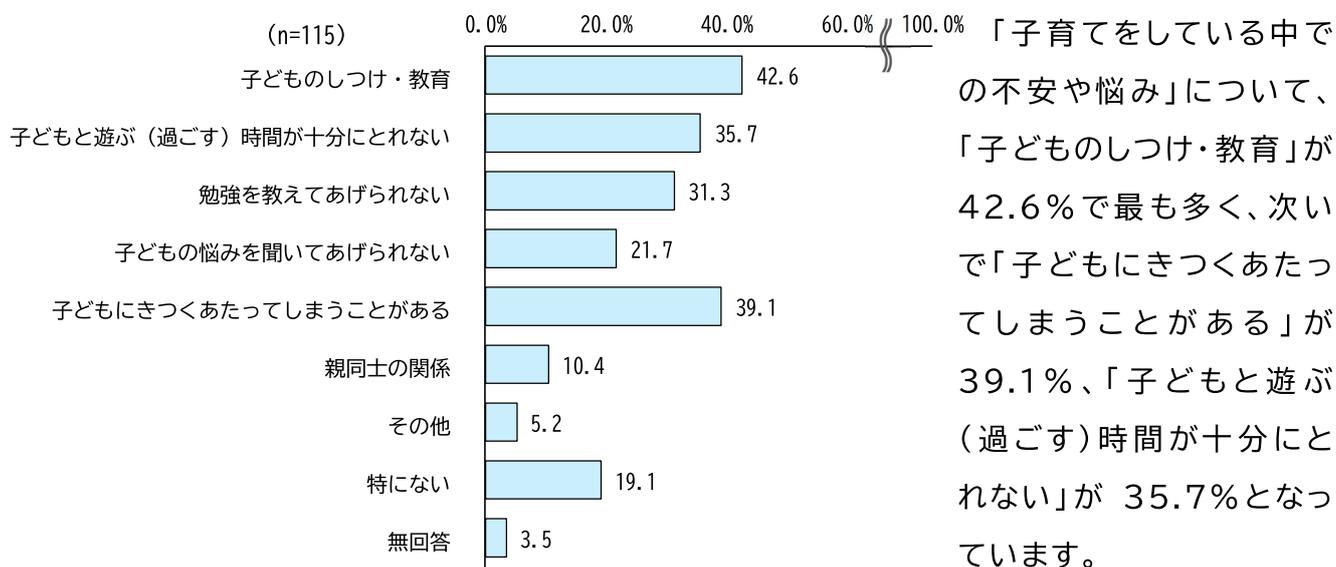
将来について何か不安や悩みはありますか。(あてはまるものをすべて選択)

※上位 3 つを掲載

「将来の不安や悩み」について、「生活費について」が 80.9%で最も多く、次いで「子どもの将来」が 76.5%、「自分の老後のこと」が 60.9%となっています。



子育てをしている中で何か不安や悩みはありますか。(あてはまるものをすべて選択)



(4) こども・若者調査結果(一部抜粋)

市内在住の15歳～39歳の方に対して行ったアンケートでは、主に以下の項目について調査を行いました。

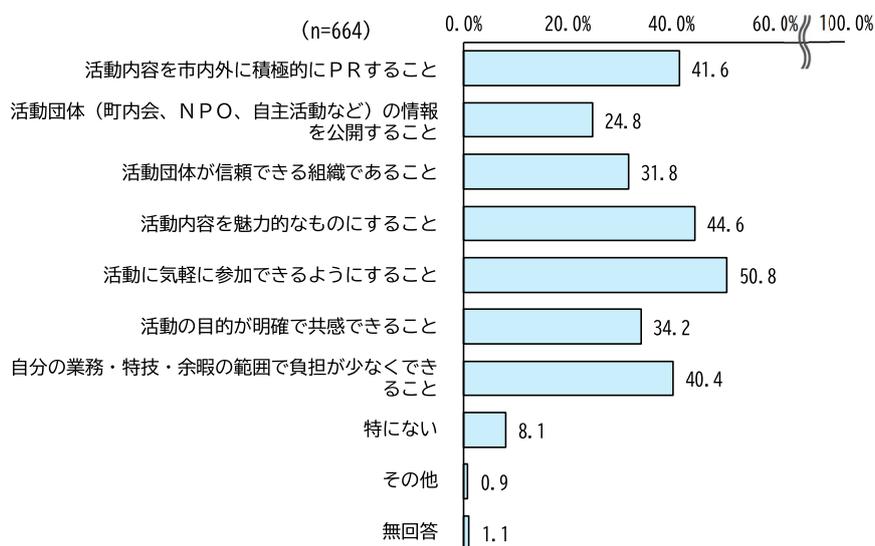
- ・結婚への意識や子どもをもつことへの意識、地域との関わり、居場所、悩みの相談先など、計画策定を行う上で重要となる設問を中心に若者世代の価値観、ニーズを調査する。
- ・回答に抵抗が出やすいプライバシーにかかわる設問は設定を減らして調査する。

アンケートの回答のうち、上記に関連する設問を抜粋して報告いたします。

■地域との関わりについて

地域活動に多くの人に参加するために必要なことはどのようなことだと思いますか。

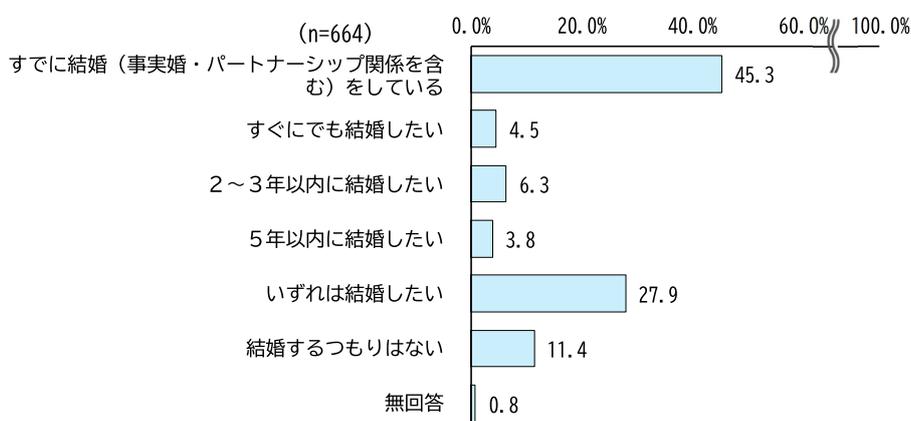
(あてはまるものをすべて選択)



「地域活動に多くの人に参加するために必要なこと」について、「活動に気軽に参加できるようにすること」が50.8%で最も多く、次いで「活動内容を魅力的なものにすること」が44.6%となっています。

■結婚観について

あなたは将来、結婚したいですか。(あてはまるものを1つ選択)

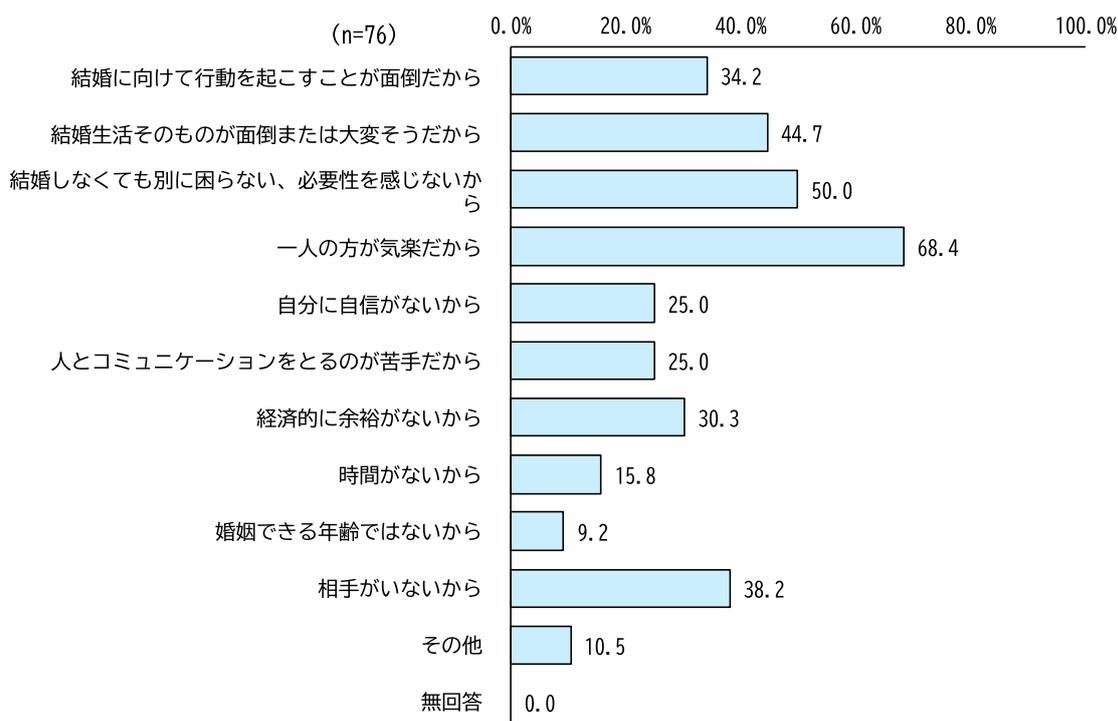


「将来、結婚したいか」について、「すでに結婚(事実婚・パートナーシップ関係を含む)をしている」が45.3%で最も多く、次いで「いずれは結婚したい」が27.9%、「結婚するつもりはない」が11.4%となっています。

【「結婚するつもりはない」を選択した方におたずねします。】

結婚するつもりがないのはなぜですか。(あてはまるものをすべて選択)

「結婚するつもりがない理由」について、「一人の方が気楽だから」が68.4%で最も多く、次いで「結婚しなくても別に困らない、必要性を感じないから」が50.0%、「結婚生活そのものが面倒または大変そうだから」が44.7%となっています。



■定住意向について

あなたはこれからも木更津市に住み続けたいと思いますか。(あてはまるものを1つ選択)

「今後も木更津市に住み続けたいと思うか」について、「どちらかというに住み続けたいと思う」が41.1%で最も多く、次いで「住み続けたいと思う」が37.5%、「わからない」が11.0%となっています。

